

2011年(平成23年)

11月23日

水曜日

勤労感謝の日、小雪しゅうせつ

経済9.11面  
 国際13面  
 金融情報16.17面  
 スポーツ19.20.21面  
 文化23面／小説24面  
 囲碁・将棋24面  
 地域28.29面  
 生活31面／教育33面  
 TV・ラジオ24.25.38面

朝日新聞大阪本社

発行所:〒530-8211大阪市北区中之島3-2-4  
電話:06-6231-0131 www.asahi.com

# 原発コスト「4割高」

## 専門家試算 事故リスク加味

政府の「エネルギー・環境会議」のコスト等検証委員会の公開データで原発の発電コストを試算したところ、発電量1キロワット時あたり約7・7円となり、2004年の政府試算より約4割高となった。検証委員は12月中に火力など他の発電コストの試算も終え、来年夏をめどに政府のエネルギー基本方針を見直す。

朝日新聞は検証委の委員を含む複数の専門家に試算を依頼した。試算に使ったデータは検証委が公開した原発の建設費や人件費、燃

料費など。また、原発出力は120万キロワットで、稼働率が80%、稼働年数は40年などと想定。原発から出る使用済み核燃料は再処理

するとした。計算方法は国際エネルギー機関(IEA)

項目	04年	今回
運転費用など	3.8円	5.1円
燃料費	1.5円	1.4円
事故費用	0円	1.2円
<b>計</b>	<b>5.3円</b>	<b>7.7円</b>

でも一般的に採用されている計算方法を使い、資本費と運転維持費、燃料費の合計を発電電力量で割って1キロワット時あたりのコストをはじいた。

経済産業省資源エネルギー庁が04年にはほぼ同じ条件で試算した原発コストは約5・3円。今回の試算では約6・5円で、放射能が漏れ出す過酷事故が起きた場合の費用を算出した「事故

リスクコスト」として、約1・2円を足すと計約7・7円だった。事故リスクコストには廃炉費用も含まれる。

事故リスクコストは、内閣府原子力委員会が10月下旬に公表した試算結果を援用。東京電力福島第一原発の153号機の3基の事故を「3回」と数え、事故の発生確率を「500年に1回」、除染などにかかる損害費用を約5兆円とした。

04年当時の原発コストは他の電源に比べて最も安かった。ただ、原発稼働率の想定を80%よりも落とせば発電コストは高まり、事故の追加費用が発生する可能性もある。条件によっては今回の試算よりもさらにコストが上がりかねない。

(関根慎一、小堀龍之)